

公表

児童発達支援における自己評価結果

事業所名		児童発達支援・放課後等デイサービス ヒトツナ金沢黒田教室			公表日		令和8年 3月 5日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5			やむを得ない状況のもと、受け入れが多い日もあるが、従業員の配置は順守している。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5			子どもたちが成長していくにあたっての状況の整備が課題。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		子どもの状況に応じて配置を変えるようにしている。			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		5		相談室（クーリングタイムに使える場所）はあるが、整備が整っていない。		
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5		職員会議をおこなっている。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		保護者向け評価表に関しての会議も行っている。			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		職員会議をおこなっている。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		5	外部評価はしていない。			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5					
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5					
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5		1回/月の職員会議をおこなっている。必要に応じて個々の児童の会議も行っている。			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		1回/月の職員会議をおこなっている。必要に応じて個々の児童の会議も行っている。			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		1回/月の職員会議をおこなっている。必要に応じて個々の児童の会議も行っている。			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5					
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5					
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		主任保育士を中心にプログラムを立案している。			

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		帰りの送迎後には急を要する話をし、翌日の当該日の出勤職員が揃った時点での昨日の振り返りの話と、当日の話を必ずしている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		上記と同様。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5			
	23	定期的モニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5			
	関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		児発管（管理者兼務）と主任保育士、もしくはその他の保育士が同席している。
25		地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5		左記に加え、必ず当該児童の相談支援専門員への連絡をしている。	
26		併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5		左記に加え、必ず当該児童の相談支援専門員への連絡をしている。	
27		小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5		支援内容・送迎の手順の確認を、お迎えの可能性のある職員が事前に保護者の了承のもと、学校と連絡を取っている。児発管（管理者）必須。変更があれば、共有している。	もう少し深めたいところでもある。
28		(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
29		質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
30		(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加しているか。				
31		(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	5		当該担当の大きな事業所さんがいるので、なにかあれば相談できる環境の下仕事をしている。	
32		地域のこどもたち、子ども園との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	5		公園で遊ぶ際には地域の子どもたちと一緒に遊ぶことの出来る環境を心がけている。	同左の施設との関わりは少ないのが現状である。
33		日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5			
34		家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	2		対象のご家族がまだ少ないので、規模を少しづつ大きくして行けたらと思っている。
		35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5			

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		ご自宅への送迎もしくはご家族送迎の時に、お互い顔を合わせて話すことの出来る関係を心がけている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5		今ご依頼があるご家庭に対して2回/月の家族支援を事業所内で行っている。(ご兄弟含)その他、必要なご家庭に対し、必要に応ずる家族連携の支援を行っている。	幅広い呼びかけをしたいと思っている。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		その日のうちの解決を心がけている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5		1回/月の会報をお届けしている。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		視覚重視のお子さまへは、そのツールを用いる事もしている。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	1	ハロウィンの行事は一週間ご近所さまにお手伝いして頂いている。	今の所ご近所さまをご招待する行事を行ったことはない。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		訓練を行った際は、随時インスタやHUGにお知らせするようにしている。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5		契約の際に確認している。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5		当該児がいない。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		年2～3回のヒヤリハット会議を行っている。必要に応じて回数が増える。	もう少し深い話が必要と考えている。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5			
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5		相談支援専門員、（並行利用していれば）他の事業所の管理者・児発管とも状況を共有しながら進めているが、今の所当該はいない。		